

鹿町工土木技術科39人が

海上で測量など体験

建協会員が全面協力



県立鹿町工業高校土木技術科2年生39人は、19～21日の3日間、平戸、松浦、佐世保市などの施工現場(10社)で実習を行っている。

大坪建設(株)が施工中の広域漁港工事現場(平戸市野子町宮ノ浦)では、4人の生徒が実習を受けた。午前中は漁港陸上部で光波測距儀を用いた基準点測量を行い、午後には海上で施工中の蓄養岸壁に渡り、今シーズン一番の寒さと強風の中、法線管理や岸壁の高さ管理のための測量を学んだ。

指導に当たった同社の山村光輝主任は「学校と現場とでは作業環境が全く違うので、机上で学んだ理論を現場で生かせるようになってほしい」と話し、作業結果については「測量は精度も良く、ちゃんとできている」と高い評価を与えていた。

初めて現場を体験したという生徒たちは「機械が学校のものとは違ったので戸惑ったが、作業はスムーズにできた。とても勉強になった」と感想を述べた。

今回同校の生徒を受け入れた企業は次の10社(順不同)。

▽大坪建設(株)▽(株)久田組▽吉住建設(株)▽久建設(株)▽(株)協和土建▽安永建設工業(株)▽(株)西日本建設▽(株)橋組▽(株)山口組▽(株)堀内組